

## アジア・大洋州・アフリカの留学生を対象にした 明治日本の産業革命遺産と 環境未来都市・北九州を巡るツアーを行います

九州各地の大学で研究に励むアジア・大洋州・アフリカ出身の JICA 留学生に対し、北九州市の企業や工場等での講義・現場視察などを通して、産業発展や公害克服の歴史、そして日本のモノづくりについて学ぶツアーを 2020 年 2 月 18 日～20 日にかけて実施します。

JICA では、開発途上国の未来と発展を支えるリーダーとなる人材を日本に招き、欧米とは異なる日本の近代の開発経験と、戦後の援助実施国としての知見の両面を学ぶ機会を提供する「開発大学院連携」プログラムを実施しており、本ツアーはその一環として行われるものです。

北九州市は、1901 年の官営八幡製鉄所の操業開始以来、日本の近代産業都市として発展し、化学・窯業・電機などを中心とした様々な素材型産業や付加価値の高い加工型産業が生まれた「モノづくりのまち」です。しかし産業都市として発展する反面、深刻な公害問題にも直面しました。その後、市民・企業・行政が一体となって環境改善に取り組むことによって、公害問題克服に至った歴史を背景に新たな産業に挑戦し続けています。

今回のツアーで、北九州市の発展の中心となった八幡製鉄所や創業 100 年を超える企業、環境産業の事例となる工場の視察を通し、北九州の産業発展や公害克服の歴史、そしてモノづくりについて理解が深まることが期待されます。是非、取材をご検討ください。

取材の際は事前に以下問い合わせ先までご連絡頂くようお願いいたします。

- 期間：2020 年 2 月 18 日（火）～2 月 20 日（木）於 JICA 九州センター他
- 参加国（11 カ国・15 名）：カンボジア、ミャンマー、ラオス、インドネシア（以上九州大学）、トンガ、ザンビア、アフガニスタン（以上宮崎大学）、チュニジア、スーダン（以上早稲田大学）、シリア（立命館アジア太平洋大学）、ケニア（長崎大学）

■取材対象日程：（取材申し込みは、事前に以下問合せ先までご連絡ください）

講義・視察先	日時	場所
八幡製鉄所旧本事務所、 第一高炉視察	2月18日（火） 14:40~15:30	北九州市八幡東区東田5（旧本 事務所）、東田2-3-12（第一高 炉）
北九州イノベーションギ ャラリーにて「日本明治 産業遺産について」講義	2月18日（火） 15:40~17:40	北九州市八幡東区東田2-2-11
安川電機みらい館視察	2月19日（水） 9:30~11:10	北九州市八幡東区黒崎城石2-1
TOTOミュージアム視察	2月19日（水） 13:00~14:00	北九州市小倉北区中島2-1-1
北九州市環境ミュージア ム視察	2月19日（水） 14:40~16:20	北九州市八幡東区東田2-2-6
北九州市エコタウンセン ター、リサイクル工場視 察	2月20日（木） 9:30~11:30	北九州市若松区向洋町10-20
シャボン玉せっけん工場 視察	2月20日（木） 13:30~14:40	北九州市若松区南二島2-23-1

**【本件に関するお問い合わせ先】**JICA九州センター研修業務課 多久和、中野、中岡  
TEL：093-671-8360 FAX：093-671-0979